

「人材育成事業の試行」について

内容 ワークショップ

目的 自治体の災害廃棄物の対応力強化

対象 協議会構成員、随行者等

【第1回】

今回

日時：令和2年11月12日(木) 13:00～16:00

場所：かでの2・7 710会議室
(札幌市北区北2条西7丁目)

テーマ：仮置場の設置・運営

【第2回】

日時：令和3年2月 午後

場所：未定 (札幌市内)

テーマ：未定【図上演習を予定】

※第1回ワークショップ後のアンケートに基づきテーマ確定

令和元年度 ワークショップ

ワークショップの次第

グループワーク①: カード選択式

グループワーク②: 課題と対策

カード選択式の例

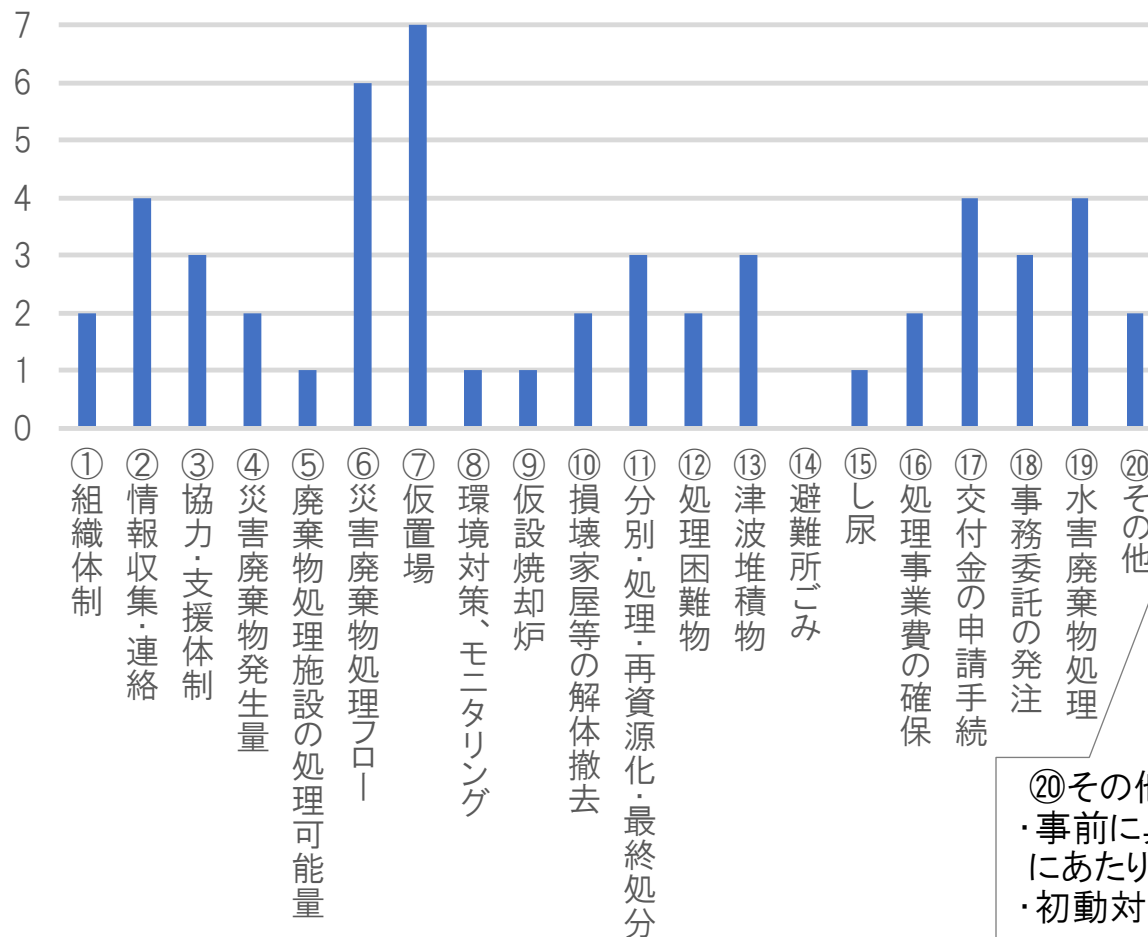
- 発災後に庁内の人員が不足する中で、災害廃棄物処理体制を確保する場合の対応を3つの選択肢から選び、意見交換。
- 家屋解体を発注する場合の契約方法について2つの選択肢から選び、意見交換。

課題と対策の例

- 組織体制、協力・支援体制の構築について、発災後に想定される現状の課題と対策を意見交換。

令和元年度 ワークショップ アンケート結果

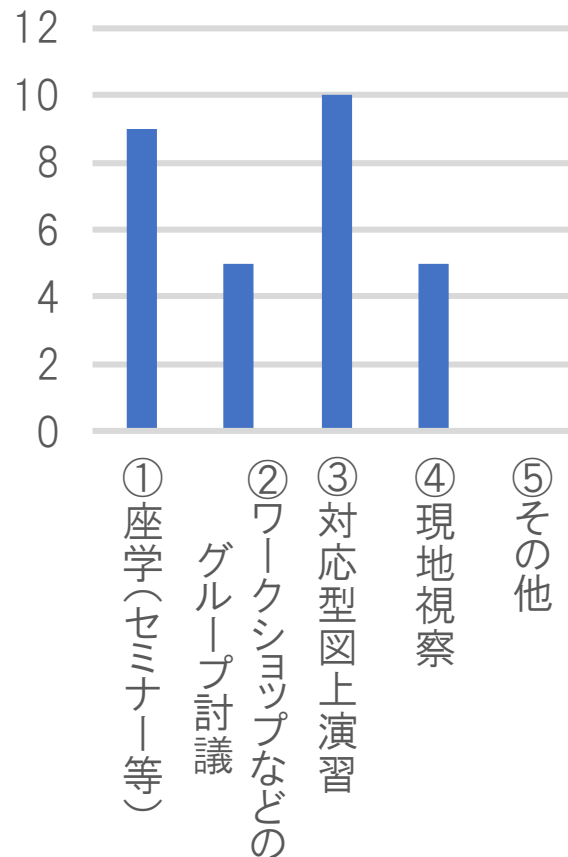
Q1) 次年度以降に人材育成事業を行う場合、どのようなテーマを希望しますか。(複数回答可)



令和元年度 ワークシヨップ

アンケート結果

Q2) 次年度以降に人材育成事業を行う場合、どのようなものを希望しますか。(複数回答可)



令和2年度

第1回ワークショップのプログラム

内容	備考
開会	
座学 災害発生時における災害廃棄物の処理について	北海道大学大学院 工学研究院 東條准教授
ワークショップ① 仮置場設置に必要なこと	各班
ワークショップ② 仮置場設置の課題と対策	各班
各班発表	全体
仮置場の設置について	応用地質株式会社
アンケート 閉会	

令和2年度

第1回ワークショップで想定する被災状況

風水害を想定

自治体	仮想都市X市
人口	約15万人
面積	約500km ²
地理等	市域の大半は山地・丘陵地。市の中心部はX川を中心に平地を形成し、南部は海洋に臨む。
廃棄物部局職員数	2～3名
想定災害	累積最大雨量500mm、時間最大雨量60mm/hrの豪雨により、河川氾濫が発生。
対象とする災害廃棄物	被災した家庭からの生活ごみと片付けごみ

第1回ワークショップの流れ

災害のイメージ



発災前・後の対応として必要なことを整理

仮置場に関わる対応事項について、模造紙に意見を整理



初動対応において必要なことを整理

仮置場の設置・運営に必要な事項を整理



円滑に進めるうえでの課題、対策を整理

各自の自治体で考えられる課題と対策を討議



各班の意見の共有

各班発表、模造紙の閲覧



第2回ワークショップ: 図上演習の要素を取り入れる